

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第55期第2四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	不二精機株式会社
【英訳名】	FUJI SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 剛
【本店の所在の場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄の連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区瓦町四丁目8番4号 井門瓦町第2ビル
【電話番号】	06（7166）6820（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第2四半期連結 累計期間	第55期 第2四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自2018年1月1日 至2018年6月30日	自2019年1月1日 至2019年6月30日	自2018年1月1日 至2018年12月31日
売上高 (千円)	3,276,321	3,326,591	6,149,330
経常利益 (千円)	233,619	207,428	267,497
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	174,496	167,396	177,958
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	110,618	135,665	97,328
純資産額 (千円)	1,380,778	1,491,381	1,380,097
総資産額 (千円)	6,143,401	6,281,796	6,191,893
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	22.97	21.65	23.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	22.36	21.41	22.77
自己資本比率 (%)	21.8	23.2	21.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	331,550	247,632	611,328
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	210,196	372,236	353,808
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	138,679	19,003	35,474
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	662,962	549,619	695,129

回次	第54期 第2四半期連結 会計期間	第55期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	15.23	5.13

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡及適用後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

経営成績等の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、企業の設備投資の増加や個人消費の持ち直しがみられるなど緩やかな回復基調で推移した一方、米中貿易摩擦が世界経済へ与える影響などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スロ・ガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考勤』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

(1) 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ89百万円（1.5%）増加し、62億81百万円となりました。

流動資産は、主に電子記録債権が1億20百万円、仕掛品が60百万円増加し、一方、製品が1億66百万円、現金及び預金が1億45百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億17百万円（3.5%）減少し32億69百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産が1億87百万円、投資その他の資産が10百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億7百万円（7.4%）増加し30億12百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ21百万円（0.4%）減少し、47億90百万円となりました。

流動負債は、主に短期借入金が増加し、一方、未払金が75百万円、支払手形及び買掛金が37百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ11百万円（0.4%）減少し31億11百万円となりました。

固定負債は、主にリース債務が18百万円増加し、一方、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10百万円（0.6%）減少し16億78百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が32百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億11百万円（8.1%）増加し14億91百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント増加して23.2%となりました。

(2) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、射出成形用精密金型及び成形システム事業の売上高が好調に推移したこと等により、前年同四半期比50百万円（1.5%）増の33億26百万円となりました。

損益につきましては、原材料価格の高騰による売上原価の増大等により営業利益は前年同四半期比1億1百万円（33.1%）減の2億4百万円、経常利益は為替差益が19百万円発生したものの、営業利益が減少したこと等により前年同四半期比26百万円（11.2%）減の2億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比7百万円（4.1%）減の1億67百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

医療機器用精密金型の売上高が好調に推移したこと等により、当セグメントの売上高は、15億46百万円（前年同四半期比9.9%増）となり、セグメント利益は前年同四半期比8百万円（5.1%）増の1億68百万円となりました。

<精密成形品その他事業>

受注高が前年に比べ減少したこと等により、当セグメントの売上高は、17億80百万円（前年同四半期比4.7%減）となり、セグメント利益は前年同四半期比98百万円（72.2%）減の38百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ1億45百万円増加し、5億49百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は、2億47百万円（前年同四半期は3億31百万円の獲得）となりましたが、これは主として、売上債権の増加1億17百万円、未収入金の増加42百万円及び為替差益31百万円等があった一方、税金等調整前四半期純利益2億3百万円、減価償却費1億64百万円及びたな卸資産の減少1億8百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は、3億72百万円（前年同四半期は2億10百万円の使用）となりましたが、これは主として、有形固定資産の取得による支出3億55百万円及び無形固定資産の取得による支出11百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は、19百万円（前年同四半期は1億38百万円の獲得）となりましたが、これは主として、長期借入金の返済による支出1億51百万円、リース債務の返済による支出72百万円及び配当金の支払額26百万円があった一方、長期借入れによる収入1億50百万円及び短期借入金の純増加80百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は0百万円であります。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設について、当第2四半期連結累計期間に重要な変更があったものは、次のとおりであります。

会社名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月		完成後の増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
THAI FUJI SEIKI CO.,LTD	タイ王国 チョンブリー県	精密成形品 その他事業	建物	133,430	91,759	自己資金 及び借入金	2018年 11月	2019年 10月	-

（注）1．上記金額には、消費税等を含めておりません。

2．投資予定金額及び完了予定年月を変更しております。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,720,000
計	23,720,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,054,000	9,054,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,054,000	9,054,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減 額(千円)	資本準備金残高 (千円)
2019年4月1日~ 2019年6月30日	-	9,054,000	-	500,000	-	85,588

(5) 【大株主の状況】

2019年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
一般社団法人千尋会	大阪市天王寺区上本町8丁目4番15号	823	10.62
伊井 剛	大阪市天王寺区	533	6.87
FUBON SECURITIES CO., LTD A/C GLOBAL (常任代理人シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	4/F., NO.108, SEC1, TUN HWA S.RD, TAIPEI 105, TAIWAN (東京都新宿区6丁目27番30号)	313	4.05
株式会社ライブスター証券	東京都千代田区丸の内1丁目11番1号	248	3.20
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	240	3.09
伊井 壽壽子	大阪市天王寺区	220	2.84
株式会社サンテック	大阪市東住吉区桑津2丁目13番4-901号	176	2.27
伊井 珠美	大阪市天王寺区	164	2.12
伊井 千尋	大阪市天王寺区	161	2.08
不二精機従業員持株会	愛媛県東温市田窪41-14	157	2.03
計	-	3,037	39.17

(注) 当社の保有する自己株式1,299,009株(持株比率14.35%)は、上記の表には含めておりません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,299,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,754,000	77,540	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	9,054,000	-	-
総株主の議決権	-	77,540	-

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二精機株式会社	大阪市生野区巽東 4丁目4番37号	1,299,000	-	1,299,000	14.35
計	-	1,299,000	-	1,299,000	14.35

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	695,129	549,619
受取手形及び売掛金	1,132,606	1,100,710
電子記録債権	80,695	200,738
製品	873,848	707,817
仕掛品	382,566	443,541
原材料及び貯蔵品	128,610	114,596
未収入金	22,269	64,213
その他	74,548	92,803
貸倒引当金	3,500	4,500
流動資産合計	3,386,774	3,269,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	541,466	530,901
機械装置及び運搬具(純額)	642,834	723,324
土地	447,035	447,035
リース資産(純額)	351,507	395,934
工具、器具及び備品(純額)	322,171	343,777
建設仮勘定	192,466	244,052
有形固定資産合計	2,497,481	2,685,026
無形固定資産	56,297	65,933
投資その他の資産		
投資有価証券	61,078	61,273
長期貸付金	7,228	7,063
繰延税金資産	39,324	40,629
その他	155,184	164,006
貸倒引当金	11,780	11,721
投資その他の資産合計	251,035	261,252
固定資産合計	2,804,814	3,012,211
繰延資産		
社債発行費	304	43
繰延資産合計	304	43
資産合計	6,191,893	6,281,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861,443	823,588
短期借入金	1,201,310	1,312,760
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
前受金	377,906	397,733
リース債務	127,194	108,181
未払金	284,203	208,707
未払法人税等	12,990	18,634
賞与引当金	77,567	46,696
製品保証引当金	16,603	21,385
その他	113,315	123,829
流動負債合計	3,122,534	3,111,515
固定負債		
長期借入金	1,471,470	1,437,080
リース債務	151,314	169,619
繰延税金負債	11,390	15,264
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
退職給付に係る負債	15,987	18,449
資産除去債務	20,068	20,011
長期前受収益	4,492	3,935
固定負債合計	1,689,262	1,678,899
負債合計	4,811,796	4,790,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	861,948	861,328
利益剰余金	49,771	186,263
自己株式	328,862	321,681
株主資本合計	1,082,857	1,225,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,770	6,318
為替換算調整勘定	258,408	225,921
その他の包括利益累計額合計	265,178	232,239
新株予約権	388	349
非支配株主持分	31,673	32,881
純資産合計	1,380,097	1,491,381
負債純資産合計	6,191,893	6,281,796

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,276,321	3,326,591
売上原価	2,465,231	2,604,159
売上総利益	811,089	722,431
販売費及び一般管理費	505,638	518,078
営業利益	305,451	204,352
営業外収益		
受取利息	567	696
受取配当金	647	1,087
受取補償金	-	2,507
為替差益	-	19,745
仕入割引	538	909
その他	4,375	3,715
営業外収益合計	6,129	28,661
営業外費用		
支払利息	22,012	19,279
為替差損	37,656	-
社債発行費償却	57	260
開業費償却	12,018	-
その他	6,215	6,045
営業外費用合計	77,960	25,585
経常利益	233,619	207,428
特別利益		
固定資産売却益	154	2
特別利益合計	154	2
特別損失		
固定資産売却損	10,979	4,025
固定資産除却損	25,280	20
特別損失合計	36,260	4,045
税金等調整前四半期純利益	197,513	203,385
法人税、住民税及び事業税	24,960	32,523
法人税等調整額	9,414	2,258
法人税等合計	34,374	34,781
四半期純利益	163,138	168,603
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	11,358	1,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,496	167,396

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	163,138	168,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,862	452
為替換算調整勘定	50,658	32,485
その他の包括利益合計	52,520	32,937
四半期包括利益	110,618	135,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,979	134,457
非支配株主に係る四半期包括利益	11,361	1,207

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	197,513	203,385
減価償却費	162,781	164,244
株式報酬費用	-	226
貸倒引当金の増減額(は減少)	500	940
賞与引当金の増減額(は減少)	25,631	30,410
受取利息及び受取配当金	1,215	1,784
支払利息	22,012	19,279
為替差損益(は益)	34,295	31,782
固定資産除却損	25,280	20
有形及び無形固定資産売却損益(は益)	10,825	4,023
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	916	2,360
売上債権の増減額(は増加)	86,616	117,710
未収入金の増減額(は増加)	11,892	42,033
たな卸資産の増減額(は増加)	57,209	108,815
仕入債務の増減額(は減少)	5,420	9,895
前受金の増減額(は減少)	88,066	28,651
未払消費税等の増減額(は減少)	39,943	1,958
製品保証引当金の増減額(は減少)	3,883	4,782
社債発行費償却	57	260
開業費償却額	12,018	-
その他	13,336	24,258
小計	359,898	281,075
利息及び配当金の受取額	1,106	1,784
利息の支払額	16,666	9,648
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	12,788	25,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,550	247,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	205,528	355,802
有形固定資産の売却による収入	3,008	150
無形固定資産の取得による支出	43	11,121
投資有価証券の取得による支出	601	600
長期貸付金の回収による収入	50	165
その他	7,081	5,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	210,196	372,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	51,300	80,000
長期借入れによる収入	150,000	150,000
長期借入金の返済による支出	145,620	151,970
非支配株主からの払込みによる収入	168,249	-
リース債務の返済による支出	100,789	72,581
セール・アンド・リースバックによる収入	26,015	-
ストックオプションの行使による収入	9,178	2,488
配当金の支払額	19,653	26,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,679	19,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,764	1,903
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	251,268	145,510
現金及び現金同等物の期首残高	411,693	695,129
現金及び現金同等物の四半期末残高	662,962	549,619

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	7,145千円	10,170千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
給料	155,368千円	155,704千円
退職給付費用	5,709	5,473
賞与引当金繰入額	4,627	7,111
貸倒引当金繰入額	500	1,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
現金及び預金	662,962千円	549,619千円
現金及び現金同等物	662,962	549,619

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月28日 定時株主総会	普通株式	22,739	3.00	2017年12月31日	2018年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
 末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるPT.FUJI SEIKI INDONESIAは第三者割当増資の
 払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が118,032千円増加したこ
 と等により、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が870,108千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	30,903	4.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
 末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,407,347	1,868,974	3,276,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,229	-	52,229
計	1,459,576	1,868,974	3,328,550
セグメント利益	160,217	136,944	297,162

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	297,162
セグメント間取引消去	8,288
四半期連結損益計算書の営業利益	305,451

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,546,370	1,780,221	3,326,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61,672	-	61,672
計	1,608,042	1,780,221	3,388,264
セグメント利益	168,313	38,022	206,336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	206,336
セグメント間取引消去	1,983
四半期連結損益計算書の営業利益	204,352

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	22円97銭	21円65銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	174,496	167,396
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	174,496	167,396
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,596	7,733
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	22円36銭	21円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	207	86
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

不二精機株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 寺本 悟 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 里見 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二精機株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二精機株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。